



2020 AHIスタディツアー



現地NGOのコーディネートにより学校・医療現場・紅茶プランテーションなどを訪問し人と出会って、現状や課題について考えます。

開発が進む地域の漁村で自分たちの生活を守る女性グループや、象と人の共生を目指す住民組織のメンバー宅で、一軒に一人のホームステイを体験。

現地での出会いを通じて、あなたはどんな力を手につかむのでしょうか？

日程

2019年3月20日(金)～30日(月)
(9泊11日)

訪問先 スリランカ

(ニゴンボ、クルネガラ、キャンディなど)

現地受け入れ団体

AHI元研修生のNGOによる受け入れ

対象 20名(高校生10名・学生/一般10名)
※AHIの会員になって頂く必要があります

参加費 204,130円(海外旅行保険代を含む)

※燃油特別付加運賃、空港使用料、ビザ申請料等
が別途必要になります

プログラム内容(予定)

日本国内：事前準備会 全2回

現地：農村ホームステイ6泊/学校訪問・交流/病院・NGO訪問/土地権利活動現場訪問/紅茶農園訪問/体験の振り返り・共有

応募締切 2020年2月10日(月) 予定

※定員に達し次第締切ります

※お申込みの際は必ず正式な資料(要項・申込書)をご請求下さい。当団体ホームページより入手可。

現地プログラム企画・問合せ先 公益財団法人アジア保健研修所(AHI)

【担当：中島】

電話：0561-73-1950

FAX：0561-73-1990

メール：info@ahi-japan.jp

ホームページ：http://ahi-japan.jp/

企画・実施 (株)風の旅行社

後援 JICA 中部(予定)

2019年 スタディツアー感想

日本との違いを見つけるため参加しようと決意

ホームステイを通じてスリランカの人たちは外国人である私たちにとても親切に接してくれました。お世話になったホストファミリーたちに恩返しができるように、もっとタミル語、シンハラ語、スリランカの実態などいろいろ勉強してスリランカにまた行きたいと思います。(高校2年女性 Sさん)

本気で生きている人たちを見て、自分ももっと必死に生きないと

僕は今回のツアーで未知の景色、匂い、味、価値観、その他諸々に触れることができました。それらは間違いなく大切な思い出で宝物です。そして自分はやはり途上国の人たちのためになることがしたいんだと再確認しました。ツアーの経験を生かして、将来は途上国の開発援助に携わってみたいです。(大学2年男性 Kさん)



2019年スタディツアー・紅茶農園にて

説明会 出来るだけご出席ください

過去のツアー訪問の様子などをお話しします。事前に知っておきたいこと、不安なことなど、気軽にお尋ねください。

日時：2月1日(土)、2月8日(土) 午後2:00~4:00

会場 アジア保健研修所(AHI)

※事前に電話またはメールにてご予約ください。

日程の都合の悪い方は個別相談にも応じます。



アジア保健研修所(AHI)は、アジア各地の村々で人々の健康を守るため、現地の保健開発ワーカーを育成している国際NGOです。1980年に始まり、約6000人の研修生がアジア各地で活動しています。その活動は、約4000人の会員、寄付者、ボランティアの方々を支えられています。



現地受け入れ団体紹介

NAFSO

(スリランカ全国漁民連合)

農民や漁民など弱い立場におかれた人々に、自らの権利を主張し、市民討論会を通して地方行政に参加するように促しているNGO。

PSS

(プラジャ・サハヨーギタ・地域の協力会)

自分たちが抱える地域課題について行政に提言や働きかけをし、住民主体の地域づくりを進めている住民組織。

SVFWO

(スリ・ビムクティ

漁村女性組合)

漁村女性の自助グループで公衆衛生の改善、生計向上、観光開発から漁民の生活を守る活動に取り組む。

HDO

(人間開発センター)

紅茶プランテーションで人権、ジェンダーの問題に取り組む、貧困根絶、公正な社会づくりを進めるNGO)

